

県連ニュース

2016年 8月号

N0-540



「長次郎谷上部を臨む」2013.08.16

藤田直生氏（比良雪稜会所属）提供

滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄 稿	リレーエッセイ	2
案 内	県連主催 比良縦走大会	3
	40周年記念行事 登山祭典開催のお知らせ	4
	40周年記念行事 講演会予告案内	5
報 告	第6回理事会議事録	6
	アルパイン講習会 第2回実技	8
	CSS岩トレ山行報告書	10
	国民平和大行進に参加して	11
	大阪府連50周年講演会に参加して	14
	近畿ブロック自然保護担当者会議 報告	15
	全国遭難対策担当者会議 報告	16
	全国女性担当者会議 報告	17
	韓国の山 山行報告	19
	ぐうたら理事長のつぶやき	23
	山猫まんま	25
予 定 表		26

< リレー エッセイ >

感動の小学校登山！

比良雪稜会 西村 高行

6月10日、地元の木戸小学校(大津市木戸)の登山遠足に 当会から私と濱島氏の2名が応援スタッフとして参加した。

これが感動の連続！ とっても清々しく気持ち良い一日であった。

登山遠足は同小の毎年恒例の伝統行事で、今年は3・4年生の全員92人が挑戦。コースは学校からびわ湖バレイ山麓駅まで1時間近く歩く。そこから打見山頂まではロープウェイを利用。打見山頂から蓬莱山を越えて小女郎ヶ池を往復する。下山もロープウェイだが、山麓駅からは再び歩いて、自宅や志賀駅・学校へと向かうもの。

4年生は体力の劣る3年生への思いやりに溢れ、見事な上級生ぶりを発揮。4年生が先頭で、途中では、かなり離れてしまった3年生を大声で励まし、到着した小女郎ヶ池では4年生の数人が大きく遅れている最後尾の3年生を走って迎えに行きリュックを持ってあげたり、復路の蓬莱山頂では喘ぎながら登ってくる3年生を4年生のほぼ全員が“がんばれ、がんばれ！”と出迎えているシーンは感動的であった。私もその輪の中に引き込まれハイタッチで迎えていた。先生の指示は一切なく、子供たちの自発的な動きなのだ。

小学校登山は、大自然との触れあい・達成感等々いろいろな意義があると思うが、助け合う心・思いやりの気持ちを育むのが一番ではと思う。

我々にとっては、子供たちとのふれあいが何よりのご褒美である。子供たちは皆、明るく元気で素直だ。特に今回は4年男子が私を“先輩！ 先輩！”と慕って、よくしゃべってくれた。これは何より嬉しい。また来年も参加したいと思うし、多くの人に経験してもらいたい。きっとハッピーな気持ちになれると思う。

実は、当会は地元のもう1校 小松小学校(大津市南小松)の登山も応援している。2001年に小松小学校の登山を応援したのが最初。当時、当会会員が小松小学校に赴任していて、学校登山が先生だけでは大変なので応援してもらえないか？ と依頼があったもの。以来、私が10年間参加。当時は5・6年生又は3・4年生全員が比良山か比叡山を下から登るもの。但し下山はロープウェイかケーブルを利用。

2011年からは、木戸小学校からも応援依頼があり、この年からは 会として地域貢献活動の一つとして小学校登山を応援しようとなり、以来毎年2校で4人程度参加協力している。今年で16年目を迎えた。

大きく遅れる子には先生が付き添うのは当然だが、友達が自主的にずっと付いて励まし続けるのを何度も目にしている。子供たちはエライ。思いやりに溢れている。一日子供たちと触れ合うのもよいものだ。教えられることも多い。

この小学校登山をずっと応援したいと思っている。子供たちが、達成感や思いやりの気持ちをどこかに持ち続けて 山や自然の好きな人になってくれれば・・・と。

比良縦走大会の案内(滋賀県連主催)

夏バテ後の体カチェックと体力づくりをしましょう

- 1 日 時 **2016年 9月 25日 (日)**
(前日 18時天気予報の滋賀南部降水確率 50%以上で中止)
- 2 コース 栗原バス停 **8:00** スタート ⇒ 権現山 ⇒ 蓬萊山 ⇒ ★笹平 汁谷 → 木戸峠 ⇒ 南比良峠 ⇒ ★北比良峠 ⇒ 釈迦岳 ⇒ ヤケ山 ⇒ 涼峠 ⇒ 楊梅ノ滝入り口の東屋 ゴール **17:00** 必着
★印はチェックポイント 必ず立寄って確認をうけてください。
★北比良峠の通過制限時刻は **14:00** です。
- 3 持ち物 地図 雨具 ヘッドランプ 飲料水 行動食 非常食 救急用品
- 4 集 合 JR和邇駅 **7:10 集合** (山科駅 6:38 近江今津行 ⇒和邇駅 7:03)
和邇駅からタクシー乗り合わせで登山口へ → 各自負担
- 5 参加費 **1,000** 円 (保険等諸費用含む)実施日当日徴収します。
- 6 申し込み 各会担当者 (県連理事)まで 氏名、住所、年齢、血液型、緊急連絡先、基金口数を添えて申し込んでください。
- 7 締め切り **9月 15日 (木)**

注 意

- ① 参加資格： コースを十分把握している個人もしくはリーダーがいるパーティ。
個 人： 労山会員で新特別基金の加入者。
パーティ： 基金加入者がリーダー、一般加入者も含めグループ行動厳守となります。
- ② スタッフの指示には必ず従ってください。
- ③ 登山口までの区間で体調に異変を感じた方は、辞退してください。
- ④ 北比良峠 **14:00** 以降はスタッフと一緒に下山していただきます。
- ⑤ コース途中の下山は必ず現地スタッフに確認のうえ下山してください。
- ⑥ 道迷い、けが、事故等トラブルについて主催者は責任を負いません。
- ⑦ 中止の場合は前日の 24 日 20 時頃までにスタッフを通じ参加者に連絡します。
- ⑧ 申し込みなしで当日飛び入り参加はご遠慮ください。

登山祭典(40周年記念行事)開催のお知らせ

期日 2016年10月23日(日)

場所 八雲ヶ原集中

時間 12時30分から集会を開きます。それに間に合うように集合して下さい。

目的 40周年をみんなで祝い、連盟加入の各会との交流を図る。

集会では各会の紹介や出し物があればやっていただきたいと思えます。

各会では8月3日までにコースを確定していただき、友永または理事までお知らせください。

県連ニュース9月号に詳細を掲載し、例年通りチラシも作成します。

集合時間・場所、コース、歩行時間、難易度、定員、連絡先、参加費など明記して下さい。

今年から県連へは一般参加者の保険料100円／人だけ納めて下さい。

雨天決行のつもりですが、実施するかどうかの判断は各会で行なって下さい。

予告

40周年記念講演会

「道迷い遭難事故を防ぐために」

～道に迷い、何日間も山中をさまよう恐怖——。

登山者の盲点でもある、誰もが陥りがちな道迷い遭難。
その原因を探り未然に防ぐ方策を検証する。

(「ドキュメント道迷い遭難」帯惹句より)

日時 2016年11月19日(土) 18:30～

場所 ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

講師 フリーライター 羽根田 治 氏



2016 年度 第 6 回理事会報告

2016・7・6(水)於;県連事務所

出席;北村、友永、中島、宮内、小林、佐藤、東郷、堀部、大月、長谷川、池田、
高玉、西村

欠席;秋田、奥野、

司会:北村 記録:高玉

★下記の議題につき、報告・協議・検討・決定しました。

1. 比良全縦(協議)

実施日 9/25

締切り 9/15 各理事を通じて遭対部 西村理事、佐藤理事に申し込む

バスが無いので予めタクシーを予約する。中止時の対応も確認する。

チェックポイント、北比良峠を 14 時までには通過は例年通り

各任務分担は次回

2. 登山祭典(40 周年記念行事)

実施日 10/23(日)

場所 八雲ヶ原集中

集合時間 12 時 30 分に集会を始めるので、それまでに集まる。

集会では挨拶、スキー場跡地の原状回復、各会の紹介など行なって交流を図る。

各会のコースの確定は 8 月 3 日までにしてもらう。

県連へ納めるのは一般参加者の保険料 100 円/人。

案内は全国連盟、近畿ブロック、友好団体(熊森、新日本スポーツ連盟、綾野山歩会ほか)に出す。

雨天実施とするが、中止の判断は各会で行なう。

他府県ほかへの中止連絡は理事長が行なう。

県連ニュース 9 月号に詳細を掲載する。

チラシは 8 月の県連ニュース印刷までに作成し、県連ニュースと一緒に各会に送る。

各会コースへの相互参加を自由にしてはどうか。

3. 「道迷い」遭難事故防止講演会(40 周年記念行事)

実施日 11/19(土)

場所 ピアザ淡海 207 号会議室

時間 18 時~21 時

参加費 会員 500 円 一般 1000 円

講師 羽根田 治 氏(遭難関係の著書多数)

4. 各部報告

組織:会員数動向 (前年度末対比 229/232 98.7%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
84/83	46/46	55/55	21/22	18/18	5/5
合計 2016.6E/2016.5E					
229/229		100%			

教育：6/26(土)第2回実技(山岳センター) 北村
7/13(水)座学(県連事務所) 秋田
7/24(日)第3回実技(金毘羅) 秋田
遭難対策：比良全縦、道迷い講演会
自然保護：7/9 近畿ブロック自然保護担当者会議 参加 中島
機関紙：県連ニュース8月号 原稿締切7/13、印刷・発送7/16
初級アルパイン報告、近ブロ自然保護担当者会議報告、平和行進報告、
全国女性担当者会議報告 ほか
救助隊：6/9 事務局会議報告
6/17 京都府連と搬出訓練の打ち合わせ会議報告(ハイキングは進行など
滋賀で担当)
CSS：7/16～18 阿弥陀岳南稜を予定
財政：、SKI-NET： 特記事項なし

5. その他

- ・40周年実行委員会は実行委員を二つの会からしか出していただけなかったので立ち上げ出来ず。県連の理事会でやれる事をやる。
実行委員会ではなく、各会に意見と希望を聞く会議を開く。
- ・ホームページについて→6月に開設済み。初期費用と毎月の管理費を次回検討する。
- ・国民平和大行進 6月16～21日 県内通しで今村氏(雪稜会)、佐藤(6/20)、友永(6/21)参加
- ・第32回全国女性担当者会議 6/25(土)～26(日)全国連盟事務所→小林、堀池さん(雪稜)参加
- ・大阪府連50周年記念講演会 6/25(土) 友永参加
- ・全国遭難対策担当者会議 7/2(土)～3(日) 全国連盟事務所→佐藤参加
- ・清掃登山会計報告ほか 余剰金65000円ほど、報告集の発行費にあてる。
標識や不法投棄について東近江市など自治体より反応あり。
- ・日本山岳遺産基金に長年の清掃登山活動の実施で補助金を申請する。
- ・ハイキングセミナー(案)について
11月から12月にかけて座学1回と、地図読みに特化して実技3回を実施。
各会に要請してスタッフを2名以上出していただく。

■ 次回第7回理事会 8月3日(水) 19:00～

アルパイン講習会（第2回実技講習）

（報告：北村昌）

日時：2016年6月26日（日） 9時～15時

場所：大津市比良げんき村人工登はん壁

参加者：（受講生）田中、其阿弥

（講師：スタッフ）北村昌、小関、長谷川、

北村き、濱野、乾、中西、平山

講習の目的：ホールド・スタンスの使い方、

登攀システムの概要理解

講習内容

- ①トップロープでの登攀練習（ホールド、クリップの使い方、バランス）
- ②登攀システムの概要の理解（デモンストレーション）
- ③支点の構築、自己ビレー
- ④フォローでのロープの繰り出し練習
- ⑤フォローでリードの確保練習（リードはトップロープでも確保）
- ⑥リード墜落時の脱出方法の説明（講師・スタッフのみ）

【受講生の感想】

（田中）

人工登攀壁を見て緊張が倍増しましたが、今回も丁寧に教えていただき感謝しています。

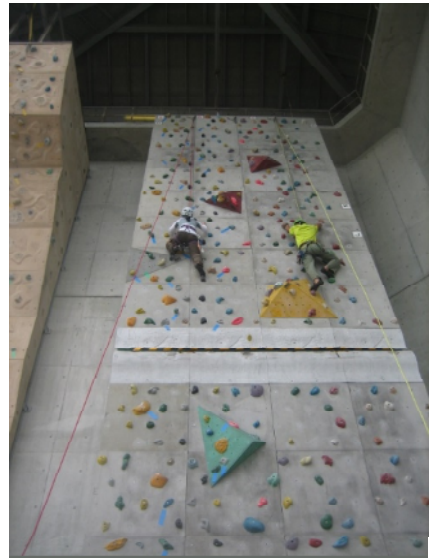
登攀の流れは、現場でなんとか理解できたように思います。

次に何をやるのかを頭でシミュレーションしてスムーズに出来る様に頑張ります。

（其阿弥）

初めての比良の人工壁。思った以上の高さに唖然としました。てっぺんに登っても足はガクガクで、登れるのかとても不安でした。

自分の番がきて、覚悟を決めて登り始めましたが、中間地点から上になると手足が震えてきて大変でした。



トップロープでの練習
人工壁の高さは15m



セカンドで上がる時は、カラビナの回収も大変でしたが、トップの人と同じルートに登らなくてはならなかったのが大変でした。

確保のロープさばきはとても難しかったです。

【講師・スタッフのアドバイス】

(長谷川)

今回訓練のロープワーク等の基礎技術は、岩山・雪山・沢登・救助活動等の基礎です。反復練習して習得して下さい。

(小関)

梅雨時のつかの間の快晴に恵まれた比良山岳センターでのアルパイン講習会実技、今回は前回の金毘羅から人工壁に場所を移して受講生の方にマルチシステムをより理解してもらう環境を参加者みんなで構築しました。

今回のマルチピッチシステム登攀のイメージをつかんで次回の実技にはより正確に、よりスムーズにできるように励まれることを願っています。

(濱野)

講師、スタッフ、受講生の皆さまありがとうございました。今回教わった基本的な手順、操作は、繰り返し練習して確実に身につけましょう。

(乾)

受講生のお二人が所属会に戻り、きちんと予習、復習をなさっている事が伝わってきました。

秋の終了山行を目指して、一緒に頑張りましょう。

(北村昌)

登ること自体の技術は、場数を踏めばある程度上達し、また教えてもらうことも多いです。

しかし、登攀システムやロープワークは現場ではゆっくりと教えてもらうことが少なく、また、初めから正確に覚えておかないと、自分だけでなくパートナーも危険な目に合わせます。登ることに比べるとロープワークは面白くないと思いますが、しっかりと覚えてください。



金毘羅・しし岩 岩トレ報告

5月29日(日) 金毘羅北尾根～北壁

参加者：谷内資康(L 彷徨) 村田啓二(岳友) 田中宏美(岳友) 竹中綾(彷徨)

琵琶湖大橋米プラザ 8:30＝(村田車と合流)大原駐車場 9時…北尾根取付 9:30…(2ピッチ)北尾根終了点(昼食) 11時～11:50…北壁取付 12時…Yケンの頭 13時…北壁終了点 13:10(懸垂下降)…北壁取付 13:40…金毘羅神社 14時…駐車場 14:30(解散)

神社には他のパーティも多く来ていて、北尾根も我々が着くと他に3パーティが取り付きに到着した。トップが登って2人を引き上げ、村田さんが最後に登ってまず2ピッチを登攀する。午後から下り坂との予報だが天気は晴れでさほど暑くもない。

昼食後、約1年ぶりに北壁を登攀する。1ピッチだが久しぶりなので緊張しながらも何とかクリア。中間点から思いのほか手間取った。Yケンの頭で懸垂下降の練習をと思ったが既に満員。北壁の終了点に戻り、北壁を懸垂下降した。北壁は案外長く、最後は空中懸垂もできるので練習には良いと思う。懸垂が終わったところで雨がポツポツ降り出したので下山した。

6月4日(土) しし岩

参加者：谷内資康(L 彷徨) 濱良和(彷徨) 中西享子(山友) 谷内里美(山友)

北小松駅 8:30＝登山口 8:50…しし岩取付 9:30…しし岩終了点(懸垂下降)…しし岩取付 12時…登山口 12:30(帰途)

しし岩へは他に2パーティがほぼ同時に到着。我々は左のスラブを登攀した。立つ位置がしっかりしていて摩擦がよく効くためスメアリングを体感するのにちょうど良い。ただし、ホールドが細かいところもあり、基本は「足で登る」。

終了点から沢へ懸垂下降を行う。傾斜が垂壁に近く、特に後半が空中懸垂となるので、慎重にロープを降ろす。こちらはとても高度感があり、本番に近い形の練習ができると思う。

今回は午前中で終了し、次はしし岩の頭を登攀することとして下山した。

平和行進に参加して

友永 芳和

6月21日滋賀県庁から京都のラクト山科公園まで歩きました。昨晚の雨も上がり陽射しが強烈な一日でした。危うく熱中症になりかかりました。

東京から広島まで歩かれる山内さんや、県内を通しで歩かれる今村さんにご挨拶する。腕章を持って来るのだったと反省する。開会式を終え10時前に30人ほどで県庁を出発した。労山旗を探したが見付からなかった。街中では時々声を掛けていただいた。原発反対、戦争反対などとコールしながら歩く。国道を歩き車で通る人たちに手を振ったりした。例年は追分の高架下で休むのだが、今日は藤尾支所まで歩いて休憩するそうだ。藤尾交番からは警察の方が警備して下さる。藤尾支所に着いて休憩したが、500mlのペットボトルを一気に飲み干してしまった。新日本スポーツ連盟の星さんにお会いした。ここからは狭い旧道を車に注意しながら歩く。横木の先で京都に入る。ここで京都府警の方と警備を交代する。賑やかになった街中を歩き12時前山科の公園に着く。食事をしながら京都市内を回っておられる方々の到着を待つ。到着されたのを待って集会が開かれる。京都は市会議員や県会議員の方など多数の方が挨拶された。京都の方が労山旗を持っておられたので聞いたら、バッグの中にあったとの事だった。旗が出ているものと思いい込んで探さなかったのが失敗だった。

挨拶の途中だったが気分が悪くなったので早めに帰った。

一年に一度だが、原爆や原発の事、戦争と平和など考える良い機会だと思います。皆さんも参加して一緒に歩きましょう。

国民平和大行進（草津→大津）に参加しました！

1958年に発足し、現在は北海道から沖縄まで幾つものルートで全都道府県を踏破する平和行進のメインルート（東京→広島）が6月16日から21日まで滋賀県内に入るので、20日に表記の区間に参加しました。草津市役所玄関前で出発セレモニーが行われ、集まった人々に見送られ25人前後でスタート。

前日雨でしたがこの日は晴れて暑く水1ℓを用意しました。コースは国道を避け主に旧東海道



道でしたが、住宅地が多いのでアピールには最適。先導車、東京からの通し行進1名、滋賀県内の通し行進3名の方々を先頭にシュプレヒコールしながら行進。最初の休憩スポットで思いがけなく比良雪陵会の今村さんと出会いました。今村さんは今回関ヶ原からの通し行進とのこと、その心意気に感服しました。

瀬田の唐橋青年会館で昼食休憩後、東京からの通し行進の方のトランペット演奏、県内通し行進の西田さん（この方は去年は富山から山陰を通して広島まで歩かれた）の『平和の暦』の独唱、同じく県内通し行進のグアム島の大学生君の挨拶

（予定になかった若い女性の通訳の飛び入りで拍手喝采）のあと午後の日程に出発。石山商店街を経て膳所に入り医療生協前で盛大な休憩のもてなしを頂いて感謝感激。県庁玄関前で要請セレモニーを行って知事のメッセージの代読、署名直筆）とペナントを受け取り三井寺前から大津市役所に到着、セレモニーと通し行進者の真情溢れる挨拶がありました。



各自治体首長のメッセージはいずれも先の米オバマ大統領の広島訪問に触れていましたが、マスメディアの評価的な論調を出ないものでした。日本政府の演出に沿った抽象的な核兵器廃絶の演説とともに米保有の核兵器の更新に莫大な予算を準備していること、訪問時に“核のボタン”を携行した軍人が付き添っていたこと、日本政府が国連総会での核兵器禁止関連の決議に悉く棄権している（以前は反対票を投じていた）事実を考え合わせると日米両政府の「本気度」を疑わざるを得ません。

参院選で改憲勢力が2/3を占めればアベは憲法九条の取っ払いに着手するのは必至で、一大国民運動を展開して何としても阻止しなければなりません。西田さんが普及に努めている『平和の暦』の歌は大きな力を発揮すると思います。60～70年代にアメリカの公民権運動やベトナム反戦で歌われた「ウィ・シャル・オーバーカム」を日本でも再現したいものです。

（理事 佐藤）

2016年原水爆禁止国民平和大行進に参加して

比良雪稜会 今村健治

6月16日関ヶ原公民館で岐阜県から引継ぎ21日京都山科まで6日間県内通し行進しました。蒸し暑い雨の日が多かったですが、平和と核兵器廃絶を訴えながら、皆様の声援で完歩でき有難うございました。5月6日に東京夢の島を出発し8月4日広島まで91日間全国通しされる山内金久さんの熱意と凄さに感動し、愛知から奈良まで歩くグアムのレイモンド・ルハン君や青年の参加に希望を感じ、沿道の方々や、各自治体訪問時の首長、議会議長や職員の方々の声援・激励で今まで59年間続いてきた草の根運動の素晴らしさを感じた6日間でした。

「平和だから登山ができる。戦争は最大の環境破壊である。」という思いと、登山とマラソンできる感謝を平和活動にも活かせたらと思い参加しました。いつかの登山時報に兵庫労山の方の県内の通し行進の記事を見た時、これだなと思い今年やりました。来年も多くの方の参加を期待します。

安全保障関連法ができ、集団的自衛権の行使や自衛隊の海外での武力行使が可能になりました。また、改憲を目指す動きも活発です。今後私たちの普通の生活を脅かしかねない事態にならないために日常から平和について考えて行動することが大事なと思います。



大阪府連 50 周年講演会に参加して

友永 芳和

6月25日に大阪のグリーン会館で開催された山本正嘉先生の50周年記念講演会に行きました。全国連盟の浦添理事長や京都の中村事務局長、大阪府山岳連盟の副会長などが来られていました。山本正嘉先生は2年前に滋賀県にも来て頂いた方です。内容はその時と同じでした。普段からトレーニングが必要だが、トレーニングの方法が間違っているところもある。登山がどのくらいハードな運動なのかを説明して、それに見合う加重を体に加えるトレーニングをするように言われた。滋賀と違ったのは終わった後に筋力トレの実技があった事です。結構厳しい実技でした。

一汗流した後、全員で椅子を片付けて机を並べ祝賀会の準備をする。出前でとった寿司やつまみを並べて準備を終えた。何人かが型通りの挨拶を行い乾杯をした。

大阪の海外登山の活動報告や、登山教室の活動報告が行なわれ、有志による演奏会も行なわれた。大きな声で歌うとお腹も空いてお酒の消費も多くなる。特に登山教室では、修了した後で、講習生が新しい会を作って連盟に加わるケースが多いと言う事です。滋賀でも年間を通して常設の登山教室が開ければ良いのですが、現状ではスタッフを含めて難しいと思います。少しでも良いので開けるように努力したいものです。

何年も登山教室やハイキングセミナーに関して来られた方々の様々な苦労話など聞くと長い歴史の中で培われた大阪の力を感じました。これからも大阪府連にお力をお借りして、助言などいただきながら滋賀県も活動していきたいと思えます。

2016年7月9日(土) 2016年度第2回近畿ブロック自然保護担当者会議報告

司会：京都(麻田)

自然保護部 中島英雄

各府県の取り組み

滋賀：第44回クリーンハイク報告。集計はA4横サイズ2枚で報告。

コメントは「県連ニュース」7月号理事長報告を使用しました。

参加者152人(会員107 一般49 子供3 自治体他1)

合計234.4Kg(可燃104.9 不燃55.9 缶21.0 びん44.6 ペット7.3 その他0.7)(中島)

(

大阪：第44回 全国一斉清掃登山・クリーンハイク結果一覧より

26山域48コース 参加人数総数665人(労山574 一般90 子ども1)

ゴミ収集量総量877.4kg(可燃物422 不燃物320 不法投棄136)

2016年グリーンイメージ国際環境映像祭入賞作品上映会「生きている地球の記録in

大阪」入場無料(受付必要)8月28日(日)10:15~16:30 大阪歴史博物館地下鉄

「谷町4丁目」(澤村)

兵庫：4月の報告と同じで「労山の森づくり」10周年記念活動の報告、4月2日(土)住

吉谷の植樹地で作業や懇親会。「東お多福山のススキ草原の再生を目指して」の活動報

告。「武庫川溪谷廃線跡ハイキング道案内」リーフをもらう。武庫川溪谷廃線跡(西宮

側)は10月下旬までは工事中で立ち入る事はできないのでご注意ください。(塚本)

和歌山：第42回クリーンハイクを6月5日(日)に7会場、10コースで計画、2会場

は雨で中止となり、9コースで実施された。

参加者数合計129人(労山117 一般12)

回収ゴミ合計76.9kg(可燃ゴミ34.5 不燃ゴミ42.4)(大住)

奈良：第48回クリーンハイク(2016年)集計をもらった。7会場で開催(5/29で5会場 6/5

は2会場)参加者合計126人(労山108 一般18)ゴミ合計282.4kg(ビン・缶類

78.8 燃えるゴミ36.2 燃えないゴミ149.4 その他18.0)(坪井)

京都：2016年クリーンハイク 結果集約表をもらった。今年は4コースが雨天中止、22

コースで開催した。参加者合計319人(会員295 一般19 こども5)

ゴミ収集量 可燃294.5kg 不燃294.6kg 土壌調査8箇所

京都労山50周年記念行事「山のおまわりさんに聞く、山のあんげんと危険」

講演者 長野県警山岳遭難防止アドバイザー 翠川幸二氏

10月2日(日)13時~ からすま京都ホテル 参加費1,000円(麻田)

近畿ブロック交流ハイク 10月23日(日) 比良八雲ヶ原へ12:30集合

滋賀県連の登山祭典に「放射線量測定登山」実施で参加する。

案内は滋賀で作成して近畿ブロック各府県自然保護担当へ連絡する。

次の自然保護担当者会議は10月1日(土)10時~大阪労山事務所で開催

全国遭難対策担当者会議報告（2016.7.2～3）

日本勤労者山岳連盟遭難対策部の主催による表題の会議が全国連盟事務所で開催され出席しましたので、その概要を報告します。参加者は東北3県、関東甲信越7都県、中部3県、近畿5府県、中国3県、四国2県、九州2県の各地方連盟および全国連盟10名の43名でした。

一日目は浦添理事長のあいさつ、全国連盟事務局長川嶋高志さんの『遭難対策の現状と課題』の基調報告がありました。2014年は遭難件数、遭難者数とも前年を上回り死亡・行方不明者も過去3番目の多さ、年代別では60歳代が最も多く次に70歳代と高齢化が進んでいます。労山では2015年の死亡事故12名、内5名は心疾患。

転倒・転滑落による骨折、頭部、首、背骨等の傷害も増加。ダニによる被害も増加。事故防止の活動と教育活動の概略説明がありました。（配布資料には労山内の15年度事故概況の統計および事故の詳細、04年からの統計および事故詳細、H27年の警察庁発表等も掲載している。）

次に講演『山での突然死』のタイトルで脳神経内科医・国際山岳医で登山家（88年ガッシャブルムⅡ峰登頂、02年チョー・オユー、05年チョモランマ登山隊長）である橋本しをりさんの話を聴きました。山で発症する脳疾患と心疾患の各症状（とくに虚血性心疾患や脳血管障害）や事例について解説されました。中高年は糖尿病、高血圧症などの不安をかかえている場合もあり低圧・低酸素環境が誘因となって突然死をきたすことがあるため登山に際して事前の十分な注意が必要とのことでした。（労山遭難対策部発行の「脳疾患・心疾患解説」という10頁の冊子は薄く読みやすいので少しでも不安のある人は読了しておくと思います。他に防水紙の1枚ものカードもありザックに携帯しておく現場での咄嗟の判断に役立ちます。）事故事例報告として体験者も含め南ア塩見岳、京都の頭巾山ハイキング、山梨の三つ峠山、兵庫の摩耶山の各事故（いずれも病気）の報告がありました。



上記の発表について質疑応答、意見交換、橋本先生の所見などがありました。この後同会場ではパックのお弁当と少々つまみで交流食事が行われました。二日目は大阪労山の教育遭対部の活動報告と計画、川嶋さんの「岩場での支点残置について」の発表、総合討論があり二日間の幕を閉じました。（遭対部 佐藤）

※会議の200頁に及ぶ資料集は事務所に保管していますので閲覧して下さい。

第 32 期全国女性担当者会議報告（2016 年 6 月 25 日～26 日）

場所 日本勤労者山岳連盟・会議室

参加者 23 都道府県より 32 名（滋賀は堀池・小林の 2 名）

全国女性員会より 13 名（神奈川県と兼務一名含む）

全国事務局長

滋賀県に女性委員会はないのですが参加させて頂きました。会議は藤元委員長の活動報告等を含めた挨拶に始まり、川嶋事務局長の講演《事故報告の現状と死亡事故から気がついた点について》、参加者の自己紹介と進み、その後討論会と交流会、さらに翌日午前中いっぱい討論会という日程で進みました。討論会の内容は多岐にわたり、どれもが興味深い内容でしたが、なかでも活発だった内容についてまとめました。

1) 女性委員会の存在意義について

委員会発足から来年で 40 年を迎え、女性登山者に対する認識や社会の在り方が変化する中で、「今、なぜ女性委員会なのか？」という疑問や、地方連盟における活動継続の難しさを訴える意見も少なからずありました。が、解決すべき課題が形を変えて次々に生まれる中で、委員会に対する期待の声も多く出ました。若い委員会メンバーの声は新鮮に響きました。

2) 山筋ゴーゴー体操の普及について

労山会員の高齢化が進む中で、女性のみならず問題となっているのが登山のための体力向上(維持)です。発案者石田良恵先生の軽快な身のこなしを直に見てお話を聞き、さらに、大阪・兵庫・岡山などの目覚ましい活動報告に圧倒され、あっさり洗脳？されました。日々の地味な筋トレが遭難対策につながることを再認識し、来るべき夏山シーズンを元気に楽しむために今日から山筋！と強く思った討論でした、ちなみに滋賀県を除く近畿ブロックは山筋普及活動が盛んで、山筋サポーター資格取得者が多数活躍、男性会員の山筋ファンも多いそうです。

3) 地方連盟における女性委員会が抱える問題について

特に目覚ましい活躍の府県もあれば、逆に女性委員会そのものが消滅する県もあり、「活動ができない」、「担当者がいない」などの問題も浮き彫りになりました。会議に出席して感じた委員会のエネルギーが、浸潤しきれないことへの解決策を見つけることは容易ではないものの、全国の女性担当者との交流や意見交換は、互いを力づけるエネルギーを持っていたように思います。

4)「第8回・女性と登山全国集会」について

2017 年秋に開催予定の全国集会の、開催地とその方針についての討論がありました、当初「青森県開催」案がだされていましたが、西日本以南から勤労者が駆けつけるにはいささか遠いのではとの意見も多数出ました。主催地については、今後の検討課題として女性委員会に一任となりました。ちなみに過去の参加者は 277 名～464 名と大規模なもので、驚きでした。



予備知識も希薄なまま参加したのですが、会議も交流会も興味深く、そこに参加の皆さんが魅力的で、交流を楽しませてもらいました、また、昨年滋賀開催の全国自然保護集会や近プロの搬出訓練等でお世話になった方々との再会もあり、有意義な時間となりました。滋賀県は活動が活発な近畿ブロックの中では異色の低温地区のためか、会議の参加に単純に驚かれたことも興味深い体験でした。 （比良雪稜会・小林記）

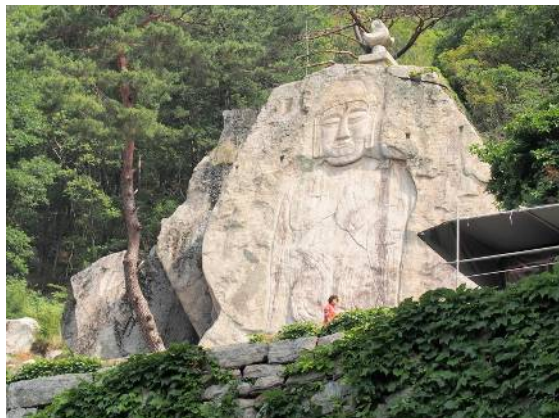
韓国の山 月岳山(ウオラクサン) 鷄龍山(ケリョンサン) 報告

参加者：谷内資康(L 彷徨) 村田啓二(SL 岳友) 濱良和(記録 彷徨) 谷内里美(会計 山友)
池田信一(山友) 渡壁芳房(岳友) 村田恵美子(山友) 辻義則 辻桃代(県庁山の会)

6月9日(木) 晴れ

関空 10:50(チェジュ航空 7C1381 便) 12:45 金浦空港 14 時(空港鉄道) = ソウル駅(地下鉄) = 15:30 高速バスターミナル駅 16 時 = 忠州バスターミナル(乗換) = 水安堡 18:30(タクシー) = Suanbo Park Hotel(泊)

今回で何回目となるのだろうか、この企画。当倶楽部では密かな人気?となっている韓国山シリーズ 2016 春版に参加させてもらうことになった。今回のメンバーは当山行シリーズ発案者兼韓国ぞっこんT内夫妻、マッコリ大好きM田夫妻、ちょっと強面ハンサムTJ夫妻、抜群の歩行速度を誇るW壁さん、少し渋めの中高年I田さん、そして筆者の計9名である。一行は関空に集合し、チェジュ航空便で一路韓国へ約1時間30分の空の旅となる。チェジュ航空はいわゆるLLCだが、CAはI田さんが話し掛けたいと思う気持ちも理解できる韓国美人で、機内サービス等は無に等しいが必要にして十分、気流も荒れることなく無事金浦空港に着陸した。その後、空港鉄道、地下鉄、高速バス、そしてタクシーと乗り継ぎ、1日目、2日目の宿となる水安堡のホテルに到着する。水安堡はソウルから高速バスで約2時間半、開湯千年以上の歴史ある山あいの温泉街。Suanbo Park Hotelは森の高台に建つ露天風呂もあるホテルだが、値段は素泊まり一泊約3,500円で割安感が高い。小休止後、温泉街に繰り出して名物のキジ料理、ビール、マッコリで乾杯となる。



徳周寺磨崖仏



8合目から見た月岳山

10日(金) 晴れ

ホテル 6時…水安堡(朝食)7:10=(タクシー)松溪里(ソングリ)7:50…恵徳寺 8時…徳周山城 8:10…登山口…徳周寺(磨崖仏)8:30…ソング三叉路11:20…月岳山 嶺峰(ヨホソ 1097m)12~13時(昼食)…ソング三叉路 14時…15:30松溪里売票所(バス停)16:10=(バス)水安堡=(タクシー)ホテル17時(泊)



月岳山(ウォラクサン)山頂

2日目はいきなり今回のハイライト、月岳山(ウォラクサン)をめざす。6時にホテルを出発、温泉街で朝食後、タクシーで登山口へ。8時すぎ登山開始、徳周寺の磨崖仏が姿を現すと一同感動する。月岳山(ウォラクサン)は標高こそ1097mと比良山級だが岩峰



無事下山



頂上直下の鉄製階段

で頂上付近は切れ落ちた絶壁が多く、8合目付近から見上げる姿はまるでジャンダルムでほれぼれとしてしまう。岩稜帯には鉄製の階段が整備されていて危険な個所はない。頂上を踏破した後昼食となる。下りはソング三叉路から広葉樹が程よく繁るルートを取り、無事バス停に到着、折からの好天も手強い缶ビールで乾杯、路線バスでホテルに戻る。露天風呂温泉で体を癒した後、温泉街に繰街に繰り出し、焼肉、焼ウナギで再び乾杯となる。当地はウナギも名物らしく、開いた生ウナギを一匹丸ごと焼肉ロースターで焼いた後、はさみで切って食べるという大胆なものだった。客は少なく閑散としていたところへ我々9人が入ったのがよほどうれしかったのか、店主は大喜びで、朝鮮人参酒、薬草酒を振る舞ってくれた。温泉、肉、ウナギそして朝鮮人参と安価でこれだけ揃えばあとは爆睡となったことは言うまでもない。

11日(土) 晴れ

ホテル6時…水安堡=(タクシー)7時忠州バスターミナル(朝食)8時=大田東部バスターミナル10時=(タクシー)ギョンハスパホテル11時(チェックイン)=大田西部バスターミナル11:30=扶余バスターミナル12:40(昼食)13:30…国立扶余博物館14~15時…定林寺跡…15:30扶余バスターミナル=大田西部バスターミナル16:40…西大田駅17:30=(地下鉄)儒城温泉駅18時…(夕食)ホテル(泊)



3日目は韓国で5番目に大きな都市、大田(テジョン) 定林寺跡弥勒菩薩

へ移動する。郊外にある儒城(ユソン)温泉のギョンハスパホテルにチェックイン後、百済時代最後の都だった扶余(プヨ)へ向かう。国立扶余博物館を訪ね、百済金銅大香炉、「百済の微笑」金銅弥勒薩立像などの遺物を前に思わずうっとり、韓国史研究が第二趣味であるT内リーダーの解説にも力が入り、はるか昔の



扶余定林寺跡

ロマンに想いをさせた。史跡めぐりを堪能し儒城温泉へ戻り、再び少し辛めの刺激ある韓国料理で乾杯し3日目も無事終了した。

12日(日) 晴れ

ホテル6時=(タクシー)7:10東鶴寺駐車場(朝食)…東鶴寺(トハサ)8時…隠仙滝9時…主稜線コル10:15…鷄龍山観音峰10:30…三仏峰12:10~13時(昼食)…男女塔14時…15:20東鶴寺駐車場16時=(タクシー)ホテル16:30(泊)



東鶴寺登山口

4日目は鷄龍山(ケリョンサン)をめざす。登山口の東鶴寺(トハサ)駐車場に到着し登山開始のはずだが、

ここで異変が発生。4名ほどが腹部のうねりに耐え切れず、大キジに疾走する。連日摂取した唐辛子が効いたようである。鷄龍山は稜線が鷄のとさかを頭にかぶった龍の姿に似ているのがその由来で、主峰の天皇峰(845.1メートル)をはじめ、三仏峰、神仙峰、観音峰など峰々が続く。稜線まで厳しい登りが続き、主稜線に出たから観音峰、三仏峰と縦走する。稜線は緩やかそうに見えるが、アップダウンは結構激しい。



隠仙滝展望台

稜線上から四方を見渡すと「チャングムの誓い」で何度か出てくる景色によく似ていて、何とも言えない哀愁感を感じた。この日は日曜日で下山途中に男女塔付近で多くの韓国人パーティが宴会中でエネルギッシュなのが印象的だった。タクシーでホテルへ戻り、懲りずに再び韓国料理とビール、マッコリで乾杯し4日目も終了となった。



観音峰山頂

13日(日) 晴れ

ホテル 6:20…6:40 儒城温泉バスターミナル 7:10
 =東ソウルバスターミナル 9:30(買物)江
 辺駅 11:30=(地下鉄)=ソウル駅=(空港
 鉄道)13時仁川空港(昼食)17時=(チ
 ェジュ航空 7C1306 便) 18:50 関空 19:30
 解散



三仏峰

最終日5日目はひたすら帰るのみと思っ
 ていたら、ソウルでロッテマートに立ち寄
 った。日本の郊外型スーパーのような店舗
 で、それぞれ買い物(人によっては爆買
 い)を楽しんだ後、仁川空港に移動、チ
 ェジュ航空にて帰国の途に就き、無事関空に
 到着した。

ぐうたら理事長のつぶやき

7月10日に山友会の登山教室の沢登り中に骨折事故が発生しヘリで搬送されました。

これから夏山シーズンが始まります。十分なトレーニングと綿密な計画と慎重な行動、そして体調管理も十分に行って事故が無いようにお願いします。事故は私の経験でも思いもよらぬ所で起ります。気を弛める事無く山行を実施して下さい。

古い山行記録を整理しています。懐かしさについつい時を忘れて時間が過ぎてしまいます。今回は昔の記録の一部を掲載したいと思います。

1992年12月26日～1993年1月15日にかけて南アルプス全山縦走に出かけました。山行そのものは、白峰三山にも行けず茶臼小屋から下山し敗退したのですが、なかなか充実した山行でした。

1993年1月12日に兎岳小屋から聖岳を越えて聖平まで行った一日の記録です。

「1/12

早く目が覚めたのでゆっくり準備をした。コルへの下りは不安定な雪に悩まされるラッセルで始まった。右は西沢の源頭で崩壊壁が続いている。時折り胸まで潜る雪をかき分ける登り下りが、果てしなく続く稜線を進む。右に左に雪庇が複雑に出ていて気を使う。コルに着くまで1時間30分もかかった。コルで一息いれて、いよいよ聖岳への登りにかかる。軟らかい雪とクラストした雪が交互に現れる嫌な登りです。ピッケルとアイゼンをしっかり利かして登り続ける。なかなかの高度感です。小さな尾根を越えて一段と急になった斜面を登る。ここで落ちたら、気持ちが良いくらい滑るだろうななどと考えながら登った。ようやく緩やかになった尾根を辿る。シュカブラが面白い形をしていて楽しめた。奥聖岳に続く尾根がだんだん近くなる。こんなにも大きな自然の中で、アリの様に小さな自分が、一歩一歩足を運び前に進み続けている事が何か不思議な感じがします。

何をし、何のために生き、誰のために進み続けるのだろうか。ちっぽけな夢のために、自分の命を危険と困難の中に投げ入れて楽しんでいる。いったい人間と言う生き物は何なんだろう。やがて長い登りも尽き、3020mの山頂に立つ。最南端の3000m峰の山頂です。ゆっくり富士山を眺めようと思ったのに、もの凄い風の歓迎を受け立っている事も出来ない。急いで下山にかかる。ギラギラ輝いている雪面を、利かないアイゼンを利かして下る。平らな尾根に出て一息つく。よくぞ下れたものと大斜面を見上げる。疲れた体に鞭打って尾根を辿る。西沢渡分岐の手前から沢に下り、沢伝いに歩き続ける。水の流れが現れたので、尾根に上がり小尾根を越えると、真新しい小尾の建つ聖平に着きました。新しい小屋は、鍵がかかって入れないので、すぐ下の古い小屋に入る。聖岳を越えると、縦走も核心部をほぼ終える事になる。3000m峰を幾つ越えて来たのだろうか。雪を融かして湯を沸かしコーヒーを飲む。こんな事を何日続けて来たのか。単純で簡単で緩やかな時の流れと時間の浪費、今の時代では一番の贅沢なのかも知れない。」

44歳の時の記録です。冬の南アルプス単独全山縦走は私の目標でした。残念ながら果たす事は出来ないまま70近い年齢となってしまいました。



8月は7月に行けなかったのもう一度水浴びでもしましょうか。8月6日(土)に天神川を歩きたいと思います。

8時20分石山駅集合、8時25分のアルプス登山口行に乗ります。アルプス登山口から五味谷堰堤まで歩き、堰堤から川を遡りましょう。沢登りではないので特別な装備はいりません。水に濡れても良い靴で(沢靴があれば最適)おいで下さい。適当な所から引返します。

参加される方は友永までメール(yt19481013@yahoo.co.jp)か電話(077-524-5618)でお知らせ下さい。

山猫まんま

No. 24 山の上ピザトースト


 フライパン用アルミホイル「クックパー」を使用することで
コップェルを汚さずに調理できるにゃ 

■材料: 二人分

フランスパン 1本、とろけるスライスチーズ 4枚、
使いきりタイプのケチャップ(個別包装タイプ) 2袋、
サラミソーセージ 2分の1本、ピーマン 1個、
玉ねぎ 2分の1個、バター 適量



■作り方:

 家での下準備: ピーマン、玉ねぎを薄切りにしておく

① フランスパンはできるだけ
平面が広がるように、
サラミは薄く切る。



② コップェルに「クックパー」を
敷く。
パンにバターを塗り、
「クックパー」の上に並べて
火をつける。

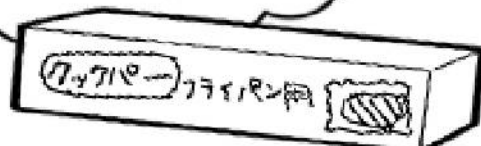


③ 片面が焼けたら裏返し、
ケチャップを塗る。
その上に切った野菜やサラミ、
スライスチーズをのせる。
蓋をして、約10分(チーズが
とけるまで)温め、完成!



「クックパー」は旭化成が作っている、
フライパン用アルミホイルにゃ。

調理中、具がくっ付かなくてとても感動するのニャ



行事予定

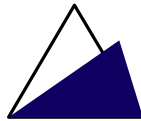
月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名	
8	3	アルパイン講習会(机上講習)	8	30~8/2	夏山合宿(北岳~間ノ岳)	ちご	
				29~8/2	北ア・針ノ木岳~烏帽子岳	雪稜	
	5	第7回理事会		6-8	北ア・穂高縦走	山友	
				6-10	北ア・表銀座縦走(燕岳~槍ヶ岳)	雪稜	
					7	那須ヶ原山~油日岳	岳友
					11-14	唐松岳~鹿島槍ヶ岳	岳友
					13-16	南ア・仙塩尾根	山友
					16	京都東山~五山送り火観賞会	雪稜
					18	ミーティング	彷徨
	21	アルパイン講習会(実技講習)		21	百里新道分岐~与助谷山	雪稜	
		27	ミーティング	岳友			
27-28	石鎚山面河溪(CSS)		25-28	南ア・黒戸尾根~甲斐駒ヶ岳	雪稜		
			27-29	北ア・針ノ木岳~船窪	山友		
			28	比叡山	ちご		
9			9	3	鳥取・大山	山友	
				4	9月例会	岳友	
				4	倶留尊山	雪稜	
				4	びわこパレイ~栗原~和邇駅	ちご	
	6	アルパイン講習会(机上講習)					
	7	第8回理事会					
	11	アルパイン講習会(実技講習)		9-11	火打山~焼山	彷徨	
				10-11	雪稜会の集い(登山/懇親会)	雪稜	
				15	ミーティング	彷徨	
		17-19	乗鞍岳	山友			
		17-19	北アルプス・剣岳	岳友			
		17-19	大普賢岳~行者還岳(大峰)	雪稜			
		18	おまかせ山行	ちご			
25	比良縦走大会	21-26	韓国の山(無等山 月出山)	彷徨			
28	アルパイン講習会(机上講習)	24	ミーティング	岳友			
10	1-2	アルパイン講習会(終了山行)	10	2	ふれあいハイク(場所未定)	山友	
	5	第9回理事会		2	10月例会(場所未定)	岳友	
				2	大和路ウォーク	ちご	
					8-10	両白・経ヶ岳~法恩寺山	山友
					8-10	木曾駒ヶ岳~空木岳	岳友
					15	比良・蓬莱山~キタダカ道	山友
	15-16	アルパイン講習会(終了山行・予備)		15-16	野坂岳~三国山	彷徨	
					20	ミーティング	彷徨
	23	登山祭典		23	登山祭典	山友	
		23	登山祭典	岳友			
		23	登山祭典(細川尾根~武奈ヶ岳)	雪稜			
		23	登山祭典	ちご			
		29	ミーティング	岳友			
		30	貝月山(岐阜)	雪稜			

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

滋賀県勤労者山岳連盟は
まもなく 40 周年を迎えます



原稿の投稿先 (9月号は 2016 年 8 月 15 日〆切)
メールアドレス yutaka_o@hotmail.com まで

原稿は B5 サイズ、フォント 10~10.5 でお願いします。

「県連ニュース」№540

発行日 2016 年 7 月 16 日

滋賀県勤労者山岳連盟
〒520-0836
大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231
Eメール shigarosan@gmail.com

http://outdoor.geocities.jp/ami_de_montagne/

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和
編集委員 奥野 豊

小林智子 高玉敬子